

PANDORA

図書委員会だより2021・11月号

臨時増刊号

奈良県立奈良朱雀高等学校
奈良県立奈良商工高等学校
図書委員会発行

第1回「天空の図書館」川柳コンクール表彰式を開催しました。

1. 日時：10月28日（木） 15時40分～
2. 場所：天空の図書館
3. 表彰
 - ★優秀作品賞 「金賞」（1句）、「銀賞」（2句）、「銅賞」（3句）
 - ★審査員特別賞 「天空の図書館賞」（4句）
 - ★番外賞 「100周年記念賞」（3句） ※対象：生徒以外の作品
4. プレゼンター：長谷川校長先生
5. 司会：図書委員

応募総数 206 句、うち生徒作品 183 句 教職員作品 23 句

となりました。たくさんのご応募ありがとうございました。

★優秀賞

- | | | |
|------|-----|--------------------|
| 金賞 ★ | 1B3 | 「風そよぐ 窓辺でくつろぐ 秋読書」 |
| 銀賞 ★ | 3B1 | 「図書室で 必死にさがす 本と夢」 |
| 銀賞 ★ | 1T3 | 「本を読む 心も体も 前を向く」 |
| 銅賞 ★ | 1T3 | 「時刻み 心へ残る 本の声」 |
| 銅賞 ★ | 3T3 | 「紙の束 めくればそれは 大宇宙」 |
| 銅賞 ★ | 1B1 | 「手にとれば 紙のにおいと 秋の風」 |

★審査員特別賞(天空の図書館賞)

- | | | |
|---|-----|----------------------|
| ★ | 1T3 | 「本を読み 世界が広がる 夏休み」 |
| ★ | 1B2 | 「天空の 図書館行くと 筋肉痛」 |
| ★ | 1B1 | 「本を読み 知識が広がる 秋の頃」 |
| ★ | 1B1 | 「図書館で 日が暮れたのに 気がつかず」 |

★番外賞(100周年記念賞) ※対象：生徒以外の応募作品

- | | | |
|---|------|--------------------|
| ★ | 安井先生 | 「本よりも 読むのが苦手 場の空気」 |
| ★ | 田野先生 | 「あの人を そっと目で追う 逆さ本」 |
| ★ | 中谷先生 | 「図書までは 八十八の 遍路かな」 |

金賞受賞者の代理です。次回は、川柳参加します！

次回も楽しみにしています！

あっと思う作品、えっと思う作品・・・

天空の図書館
川柳コンクール
受賞おめでとうございます。



金賞 ★ 1B3

「風そよぐ 窓辺でくつろぐ 秋読書」

夏が過ぎて涼しくなってきた秋に、風を感じながら気持ちよく読書をする姿。

うれしいです。
ありがとうございます。



銀賞 ★ 3B1

「図書室で 必死にさがす 本と夢」

図書室は本を探す場です。しかし、本は将来の夢などを決めるきっかけになったりします。そのような思いを込めました。

川柳コンクールの銀賞に選ばれて
とてもうれしいです。この川柳コンクールを
きっかけにたくましく図書室に
来てほしいと思いつけ、
本 図書室に来封。

銀賞 ★ 1T3

「本を読む 心も体も 前を向く」

本を読むと集中できるので、少し前向きになれる

読書が好きなので
本に関する賞がとれて
うれしいです。

銅賞 ★ 1T3

「時刻み 心へ残る 本の声」

読書で物語が進むと、好きなシーンが心の中に残っていく。心へすんなり物語が入ることから、声という風に表しました。時刻みは心に物語が刻まれていく

僕の買った本は、表紙のインパクトを重視して選ぶことが多く、作者もまったく知らない未知の本を読んでいます。たぶん名前が知られていない本だとしても、でも「好きな本はたくさんある事を知ってもらいたいです。」



銅賞 ★ 3T3

「紙の束 めくればそれは 大宇宙」

棚に置かれている数々の本。それらは紙の束でしかないけれど。開いて読んでみれば、それはただの紙ではなく一つの大きな宇宙のようだ。

ただただ、おどろいています。
私はむかしから文を考えることが苦手で、ましてや川柳なんて字に苦手なので、とてもうれしいです！

銅賞 ★ 1B1

「手にとれば 紙のにおいと 秋の風」

手にとった時の本の独特な香りと、秋に吹く風を同時に感じたもの。

まさか賞をもらえるなんて
思ってもなかったのが嬉しいです。



天空の図書館賞 ★ 1T3

「本を読み 世界が広がる 夏休み」

夏休み中に本を見て、世界が広がったと感じたので

まさか受賞するとは思わずうれしい
気持ちとびっくりしている気持ちで書きます。

天空の図書館賞 ★ 1B2

「天空の 図書館行くと 筋肉痛」

私は運動をしていないので、自分の一階のクラスから五階までゆっくり上がっても筋肉が叫んでいる場面。

めっちゃ嬉しいです
あんまり読んでくれてありがとうございます
図書館の本が大好きです

天空の図書館賞 ★ 1B1

「本を読み 知識が広がる 秋の頃」

本をよく読むといえば、秋の頃のイメージがあり、本を読むと知識が広がるから。

私の書いた川柳が選ばれたとは、思っていなかったのでも驚きました！本が好きなので、テーマに合った作品ができてうれしかったです。

天空の図書館賞 ★ 1B1

「図書館で 日が暮れたのに 気がつかず」

図書館に行って本を読んでいると、日が暮れていたのにも気付かなかった。

授業中になにも考えずに書いたので
まさか表彰されるとは思わなかった

100周年記念賞 ★ 安井先生

「本よりも 読むのが苦手 場の空気」

本を読む事は時間をかければ可能ですが、その場の空気を読むのが難しいですね。そんな時は笑っておきます。とりあえず。

表彰されるとは思わなかったのに、
驚きました。ここで受賞してほう
あたり、やはり場の空気を読む
てはいいなと改めて痛感しています。

100周年記念賞 ★ 田野先生

「あの人を そっと目で追う 逆さ本」

気になる人を読書のふりをして見ているが、本が逆さまになってしまっていた。

ありがとうございました。

100周年記念賞 ★ 中谷先生

「図書までは 八十八の 遍路かな」

本校一階より図書室まで八十八の階段あり。古より。人に八十八の煩惱あり。されば八十八の階段上り煩惱を滅し、清明なる心のままに書に向きあう本校図書室のありがたみを知るべし。

「下町 鉄砲 撃たせ 当たる」
「絶対的な量はあつと愛を内包する」
ということを実感します。
この本が、このことを肝に銘じて
読ませます。